

復旧に向けた取り組み

○桐陽台第一調整池の復旧

- ・給水区域 安佐北区 可部東三、六丁目
三入四丁目、三入東一丁目
可部町桐原、可部町上原
- ・給水戸数 739戸 平成26年8月20日調整池枯渇により全断水
- ・断水日数 1日間 平成26年8月20日～8月21日

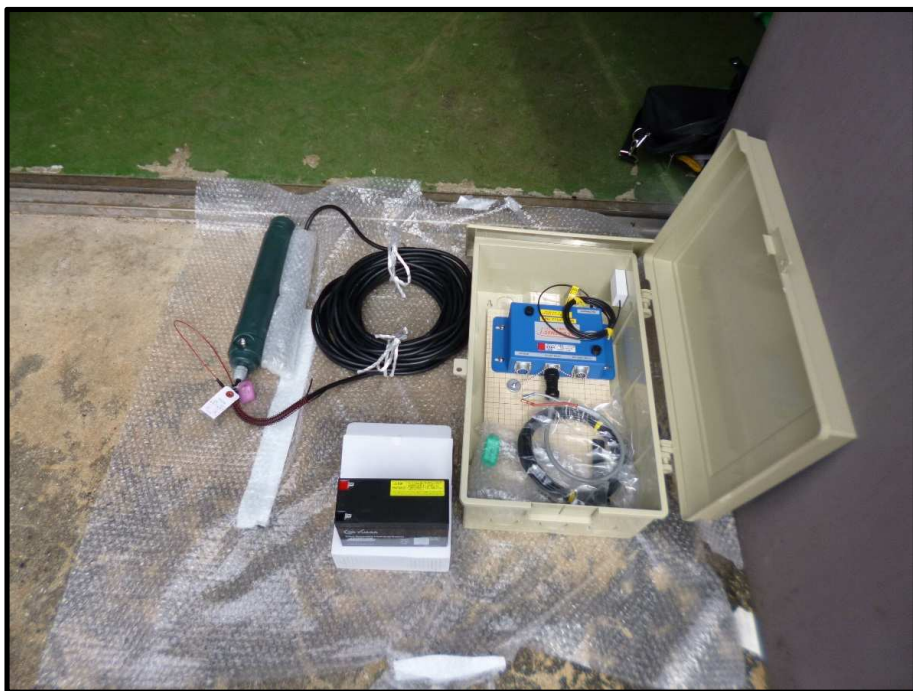
桐陽台第一調整池の対応

●経緯

- 8月19日 調整池へ向かう道路が土砂崩れにより寸断
調整池とポンプ所を結ぶ運転制御ケーブルが断線しポンプ運転停止
- 8月20日 土砂崩れにより調整池への立ち入りが禁止。
被災状況や水位の確認が不可能となり調整池が枯渇
一時739戸が断水
- 8月21日 調整池への立ち入りが可能となり、施設の安全を確認。
水位を職員で読み取り、手動運転開始。
断水復旧
- 8月29日 広島県が所有していた仮設水位計を設置（水位情報を伝送可能）
浄水場からポンプの遠隔手動運転が可能となった。

桐陽台第一調整池の対応

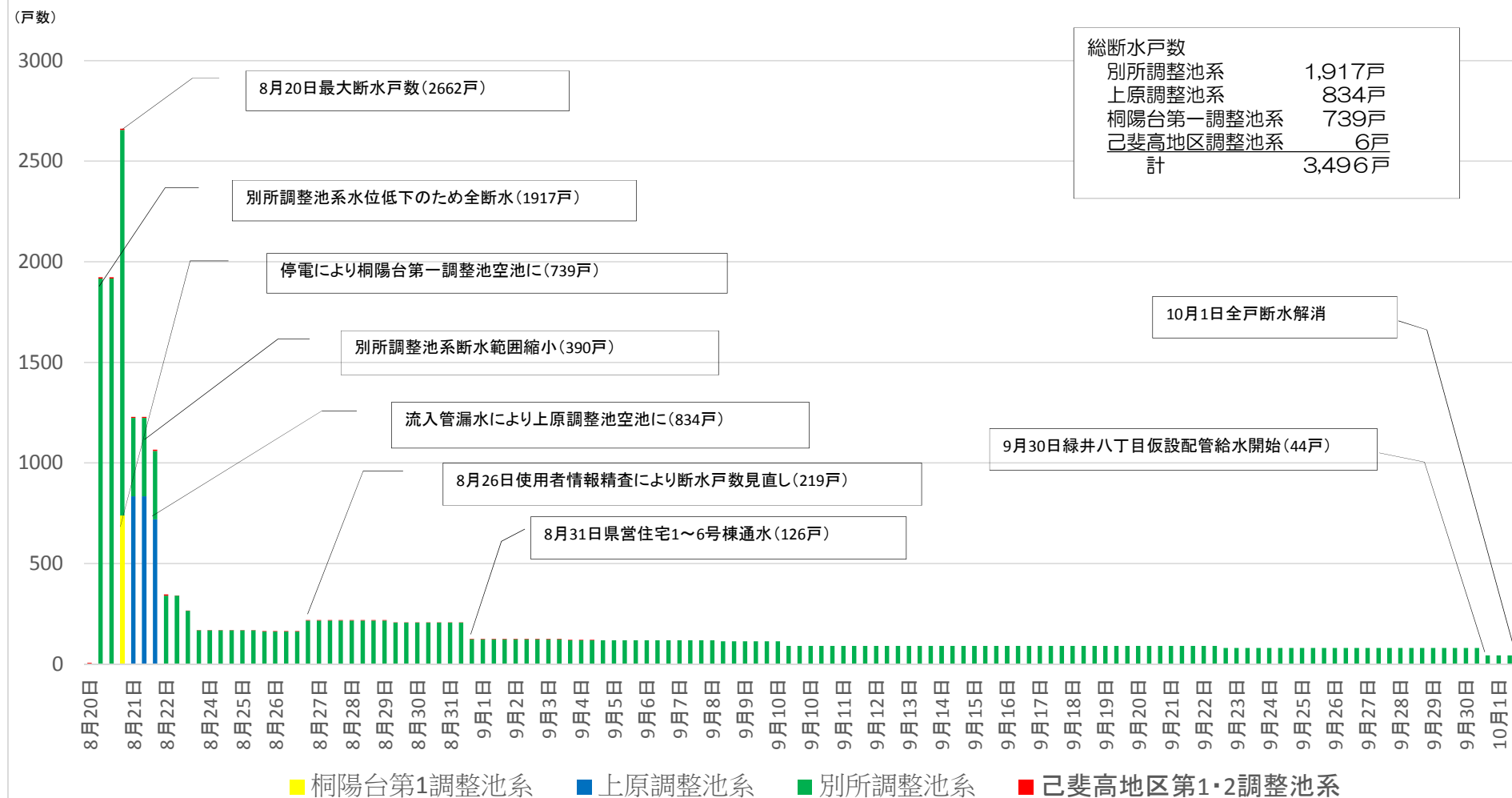
■ 仮設水位計



■ 設置状況



8月19日からの豪雨災害による断水戸数の推移〔10月1日現在〕



応急給水活動

(1) 拠点給水（8月20日～8月28日14時まで実施）

- ・全部で13か所開設
- ・8月20日に最大9か所で応急給水実施
- ・高齢者への個別運搬給水（給水拠点閉鎖に伴い8月28日以降実施）

〔8月20日の活動状況〕

《安佐南区》

A	別所歩道橋前	12:45 ～ 22:30	給水タンク車:4台 広報車 :2台
B	梅林小学校	13:00 ～ 16:00	
C	県営別所住宅	14:00 ～ 23:00	
D	八木が丘公園下付近	13:30 ～ 23:00	
E	八木第5公園	13:00 ～ 14:00	
F	上緑井幼稚園	15:00 ～ 22:40	

《安佐北区》

G	可部東第1公園	18:00 ～ 23:00	給水タンク車:7台 広報車 :3台
H	可部東第2公園	18:00 ～ 00:00	
I	上原北集会所	19:30 ～ 23:00	
J	ちびっこ広場	19:30 ～ 00:00	
K	県立広島北特別支援学校	15:00 ～ 16:00	
L	桐原団地付近	16:00 ～ 17:00	
M	桐原公会堂	16:00 ～ 23:00	

応急給水活動

(2) ボトルドウォーターの配布

①	生活避難場所への配布	576本
	毘沙門台小学校 八木小学校 梅林小学校	192本(8月20日) 240本(8月20日) 144本(8月20日)
②	支援者への配布	3,627本
	国災害対策本部(市役所2階講堂) 現地災害対策本部(安佐南消防署) ボランティア用(安佐北区ボランティアセンター) ボランティア用(安佐南区ボランティアセンター) ボランティア用(安佐南区ボランティアセンター)	267本(8月28日) 840本(8月29日) 840本(9月 5日) 840本(9月 9日) 840本(9月10日)



応急給水活動

(3) 災害対応用給水栓の設置（8月22日から設置）

○設置経緯

- ・断水区域が山すそに広がる住宅地で、道路が狭小であったため、給水タンク車による応急給水や消火栓を利用した可搬式応急給水用具の設置が困難であった。
- ・飲料用以外にも、宅地内に流入した土砂等の清掃などに水道水の需要があった。

○設置場所、対応

- ・断水地区の近隣に設置し、24時間利用可能。無料
- ・安佐南区八木三丁目、緑井七丁目、緑井八丁目の計9か所に設置

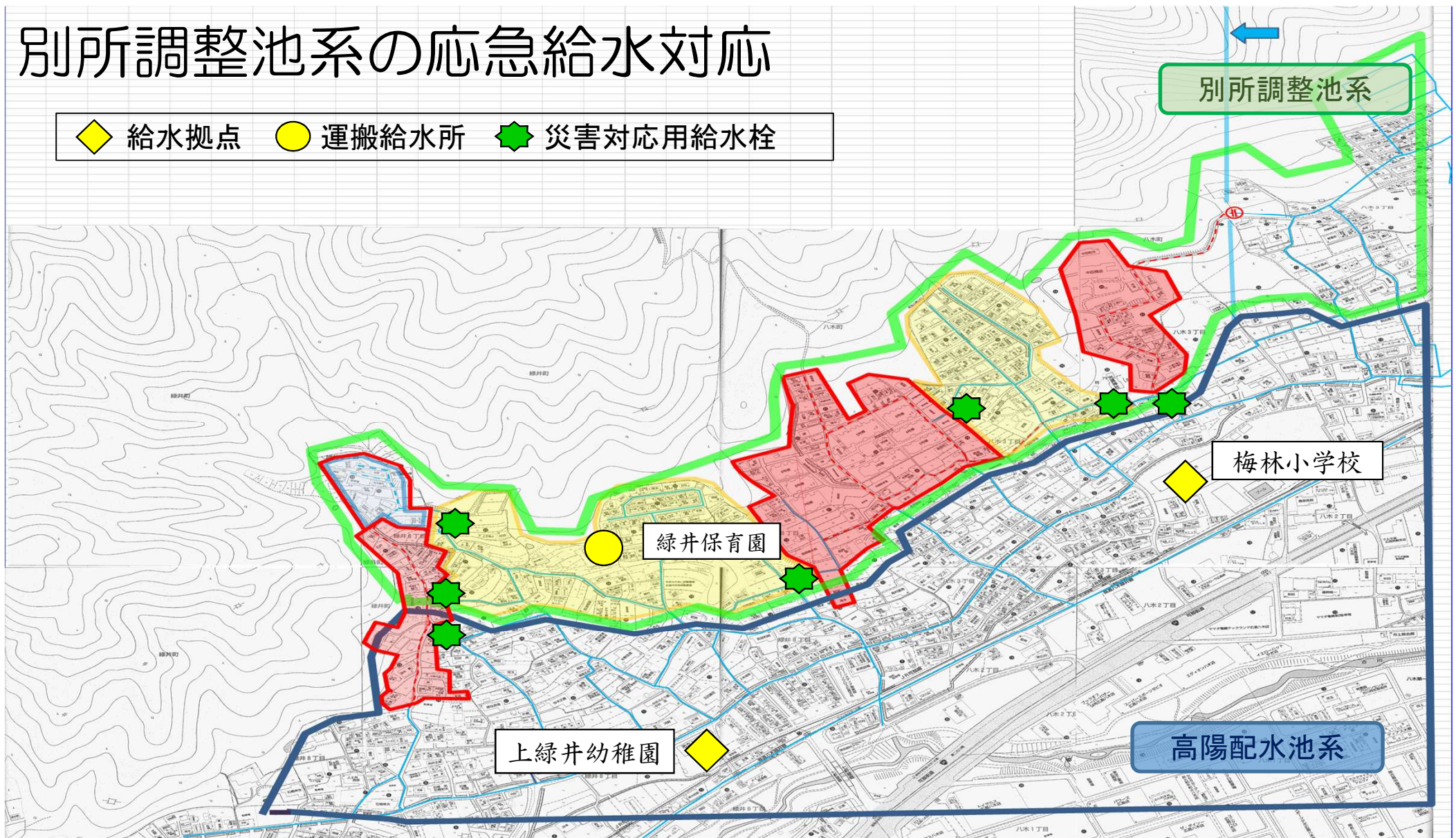
○設置方法

- ・配水管から分水し、立水栓を設置（道路すみ、民地内）
- ・所有者の了承を得て、給水管を使用（給水管から分岐し立水栓設置、既設のじゃ口利用）

設置場所		設置状況	
① 緑井八丁目28番街区	2口水栓	⑥ 八木三丁目26番街区	2口水栓
② 緑井八丁目32番街区	2口水栓	⑦ 緑井七丁目32番街区	2口水栓
③ 緑井八丁目33番街区	2口水栓	⑧ 緑井七丁目32番街区	2口水栓
④ 緑井八丁目19番街区	給水装置借用	⑨ 八木三丁目15番街区	給水装置分岐
⑤ 八木三丁目28番街区			

別所調整池系の応急給水対応

◆ 給水拠点 ● 運搬給水所 ★ 災害対応用給水栓



応急給水活動〔災害対応用給水栓〕

- ・24時間自由に利用可能な給水栓を設置(無料)
- ・断水地区の近隣に設置
- ・緑井、八木地区に9か所設置

【配水管から分水し立水栓を設置したもの】



【承諾を得て宅地内の蛇口を利用させていただいたもの】



応急給水活動〔災害対応用給水栓〕

【配水管から分水し道路際に立水栓を設置】



【神社の敷地内に設置】



応急給水活動〔災害対応用給水栓〕

- ## ・給水拠点や避難場所での広報

【給水拠点での広報の様子（上緑井幼稚園）】



【避難所での広報の様子（梅林小学校）】



濁度3000度への対応

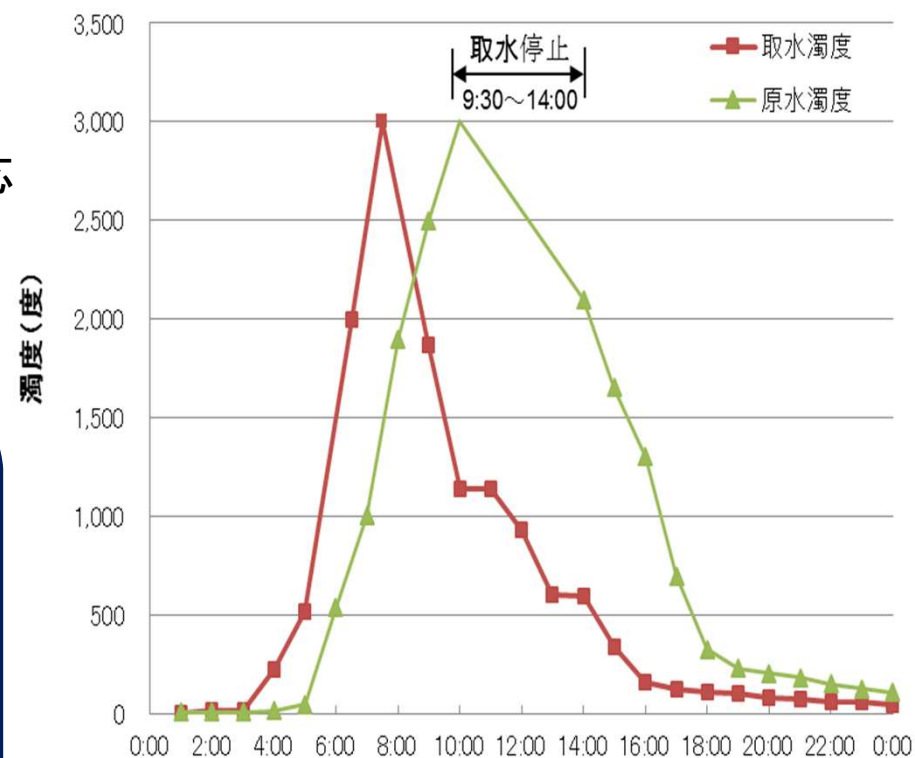
【高陽浄水場】

○対応

20日5時頃 原水濁度が上昇開始
2500度までは取水量の制限により対応
20日9時半～ 3000度を超過することが見込まれた
ため取水停止

《可能となった要因》

- 1 昨年の山形市での取水濁度3000度を踏まえ、「濁度—薬品注入量—取水可能量」の換算表を作成していた。
- 2 知識や経験豊富なベテラン職員のスキル
- 3 公舎職員の非常呼び出しによる支援体制



8月20日における高陽浄水場及び高陽取水場の濁度

講演内容

- 豪雨災害による被害の概要
- 気象状況と土砂災害
- 水道施設の被害
- 復旧に向けた取り組み
- 今後について



今後について

●平成26年8月20日豪雨災害復興まちづくり本部の設置

○市長を本部長として設置

○設置日

平成26年10月7日

○目 的

平成26年8月20日豪雨災害で被災した地区について、まちの将来像を踏まえた

復興まちづくりビジョンを策定し、ビジョンに基づき安全・安心な街づくりを推進していく。

水道局としても

復興まちづくりビジョンの方針を基に、
安全・安心な街づくりに参画していく。

今後について

●土砂災害警戒区域(特別警戒区域)にある施設への対応

広島県では、土砂災害防止法に基づく基礎調査結果を公表



■10月8日現在、区域に含まれる水道施設

土砂災害警戒区域 (内土砂災害特別警戒区域)

浄水場	2(2)
取水場	1(1)
配水池	38(21)
ポンプ所	30(8)
計	71(32)

市民に対し不安を与えない
適切な対応が必要

ご清聴ありがとうございました

